

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-165812  
(43)Date of publication of application : 02.07.1993

(51)Int. Cl. G06F 15/20  
G06F 13/00  
G06F 15/20  
G06F 15/20

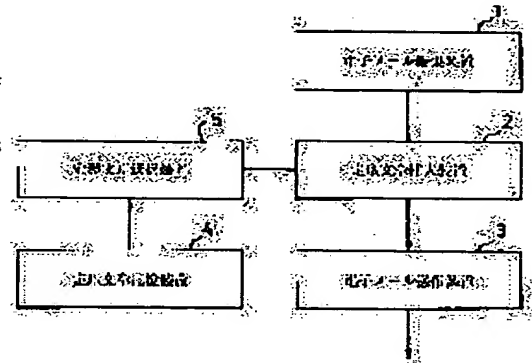
(21)Application number : 03-328638 (71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD  
(22)Date of filing : 12.12.1991 (72)Inventor : TAKAMUNE KAZUAKI  
NISHINO ETSUJI

### (54) DOCUMENT INFORMATION PROCESSOR AND METHOD THEREFOR

#### (57)Abstract:

PURPOSE: To provide a document information processor and a document information processing method by which a user can select a specific standardized sentence from among the plural preliminarily prepared standardized sentences and inserts it into a document information main sentence.

CONSTITUTION: An electronic mail editor 1 edits an electronic mail main sentence based on the instruction of the user, and outputs the edited electronic mail main sentence. A standardized sentence storage device 4 stores a standardized sentence group constituted of the plural standardized sentences. A standardized sentence selector 5 reads out the standardized sentence group from the standardized sentence storage device 4, designates it to the user, and outputs the specific standardized sentence selected by the user, from among it. A standardized sentence inserting device 2 inserts the standardized sentence outputted from the standardized sentence selector 5 into the electronic mail main sentence, and outputs an electronic mail with the completed insertion of the standardized sentence. An electronic mail transmitter 3 outputs the electronic mail with the completed insertion of the standardized sentence outputted from the standardized sentence inserting device 2 as a transmission electronic mail.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]  
[Date of sending the examiner's decision of rejection]  
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]  
[Date of final disposal for application]  
[Patent number]  
[Date of registration]  
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-165812

(43)公開日 平成5年(1993)7月2日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 15/20	5 3 8 M	7343-5L		
13/00	3 5 1 G	7368-5B		
15/20	5 2 2 U	6798-5L		
	5 9 0 J	7343-5L		

審査請求 未請求 請求項の数6(全10頁)

(21)出願番号 特願平3-328638

(22)出願日 平成3年(1991)12月12日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社  
大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 高宗 和暁

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72)発明者 西野 悦二

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

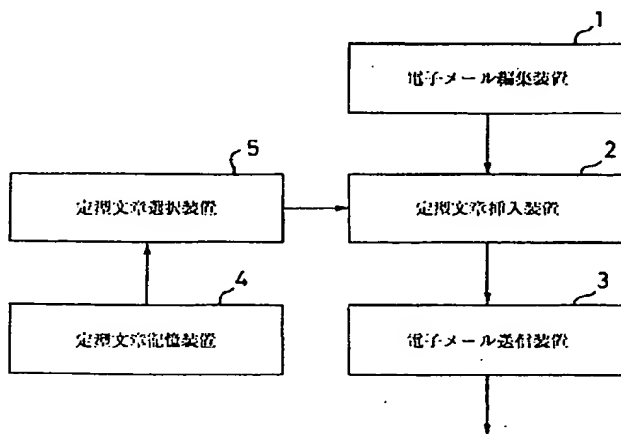
(74)代理人 弁理士 中島 司朗

(54)【発明の名称】 文章情報処理装置および文章情報処理方法

(57)【要約】

【目的】 あらかじめ用意した複数の定型文章の中から利用者が特定の定型文章を選択して文章情報本文に挿入できる文章情報処理装置および文章情報処理方法を提供する。

【構成】 電子メール編集装置1は、利用者の指示に基づいて電子メール本文を編集し、編集した電子メール本文を出力する。定型文章記憶装置4は、複数の定型文章からなる定型文章群を記憶する。定型文章選択装置5は、定型文章記憶装置4から定型文章群を読み出して利用者に提示すると共に、その中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する。定型文章挿入装置2は、定型文章選択装置5から出力された定型文章を電子メール本文に挿入して定型文章挿入済み電子メールを出力する。電子メール送信装置3は、定型文章挿入装置2から出力された定型文章挿入済み電子メールを送信電子メールとして出力する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の定型文章からなる定型文章群を記憶する定型文章記憶装置と、この定型文章記憶装置から前記定型文章群を読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する定型文章選択装置と、この定型文章選択装置から出力された定型文章を文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を出力する定型文章挿入装置とを備えたことを特徴とする文章情報処理装置。

【請求項2】 複数の定型文章からなる定型文章群を記憶する定型文章記憶装置と、日時を監視して日時情報を出力する日時情報出力装置と、この日時情報出力装置から出力された日時情報に適した定型文章を前記定型文章記憶装置から読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する日時考慮型定型文章選択装置と、この日時考慮型定型文章選択装置から出力された定型文章を文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を出力する定型文章挿入装置とを備えたことを特徴とする文章情報処理装置。

【請求項3】 複数の定型文章からなる定型文章群を記憶する定型文章記憶装置と、文章情報本文から宛先情報を検出する宛先検出装置と、この宛先検出装置により検出された宛先情報に適した定型文章を前記定型文章記憶装置から読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する宛先考慮型定型文章選択装置と、この宛先考慮型定型文章選択装置から出力された定型文章を前記文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を出力する定型文章挿入装置とを備えたことを特徴とする文章情報処理装置。

【請求項4】 定型文章記憶装置に記憶されている定型文章群を読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を得る定型文章選択ステップと、この定型文章選択ステップで得た定型文章を文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を得る定型文章挿入ステップとを実行することを特徴とする文章情報処理方法。

【請求項5】 日時を監視して日時情報を得る日時情報出力ステップと、この日時情報出力ステップで得た日時情報に適した定型文章を定型文章記憶装置から読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を得る日時考慮型定型文章選択ステップと、この日時考慮型定型文章選択ステップで得た定型文章を文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を得る定型文章挿入ステップとを実行することを特徴とする文章情報処理方法。

【請求項6】 文章情報本文から宛先情報を検出する宛先検出ステップと、この宛先検出ステップで検出した宛先情報に適した定型文章を定型文章記憶装置から読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を得る宛先考慮型定型文章選択ステッ

プと、この宛先考慮型定型文章選択ステップで得た定型文章を前記文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を得る定型文章挿入ステップとを実行することを特徴とする文章情報処理方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、送信する文章情報に定型文章を挿入する文章情報処理装置および文章情報処理方法に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 文章情報を送信する場合には、時候の挨拶文などの定型文章を文章情報本文中に挿入することが一般に行なわれている。この定型文章は、送信者と受信者との関係や送信時の季節あるいは時刻などに応じて使い分ける必要がある。従来の文章情報処理装置を採用した電子メール処理装置は、図7のように、電子メール編集装置31と、定型文章挿入装置32と、電子メール送信装置33と、単一定型文章記憶装置34とを備えている。そして電子メール編集装置31は、電子メール本文の編集が終了すると、定型文章挿入装置32に向けて電子メール本文を出力する。これにより定型文章挿入装置32は、電子メール編集装置31から供給された電子メール本文に、単一定型文章記憶装置34から読み出した定型文章を挿入した定型文章挿入済み電子メールを電子メール送信装置33に向けて出力する。これにより電子メール送信装置33は、定型文章挿入装置32から供給された定型文章挿入済み電子メールを送信電子メールとして送信先に送信する。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら上記従来の文章情報処理装置を採用した電子メール処理装置では、複数の定型文章を使い分けようとすると、電子メールの送信者が単一定型文章記憶装置34の記憶内容を手動で書き換える必要が生じるという問題があった。また、海外宛の電子メール本文に、国内宛の電子メール本文に挿入する場合に用いる日本語コードで書かれた定型文章を挿入してしまう誤りが生じることがあるという問題もあった。

【0004】 本発明はかかる事情に鑑みて成されたものであり、あらかじめ用意した複数の定型文章の中から利用者が特定の定型文章を選択して文章情報本文に挿入できる文章情報処理装置および文章情報処理方法を提供することを目的としている。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 請求項1の文章情報処理装置は、複数の定型文章からなる定型文章群を記憶する定型文章記憶装置と、この定型文章記憶装置から前記定型文章群を読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する定型文章選択装置と、この定型文章選択装置から出力された定型

文章を文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を出力する定型文章挿入装置とを備えたことを特徴としている。

【0006】請求項2の文章情報処理装置は、複数の定型文章からなる定型文章群を記憶する定型文章記憶装置と、日時を監視して日時情報を出力する日時情報出力装置と、この日時情報出力装置から出力された日時情報に適した定型文章を前記定型文章記憶装置から読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する日時考慮型定型文章選択装置と、この日時考慮型定型文章選択装置から出力された定型文章を文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を出力する定型文章挿入装置とを備えたことを特徴としている。

【0007】請求項3の文章情報処理装置は、複数の定型文章からなる定型文章群を記憶する定型文章記憶装置と、文章情報本文から宛先情報を検出する宛先検出装置と、この宛先検出装置により検出された宛先情報に適した定型文章を前記定型文章記憶装置から読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する宛先考慮型定型文章選択装置と、この宛先考慮型定型文章選択装置から出力された定型文章を前記文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を出力する定型文章挿入装置とを備えたことを特徴としている。

【0008】請求項4の文章情報処理方法は、定型文章記憶装置に記憶されている定型文章群を読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を得る定型文章選択ステップと、この定型文章選択ステップで得た定型文章を文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を得る定型文章挿入ステップとを実行することを特徴としている。

【0009】請求項5の文章情報処理方法は、日時を監視して日時情報を得る日時情報出力ステップと、この日時情報出力ステップで得た日時情報に適した定型文章を定型文章記憶装置から読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を得る日時考慮型定型文章選択ステップと、この日時考慮型定型文章選択ステップで得た定型文章を文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を得る定型文章挿入ステップとを実行することを特徴としている。

【0010】請求項6の文章情報処理方法は、文章情報本文から宛先情報を検出する宛先検出ステップと、この宛先検出ステップで検出した宛先情報に適した定型文章を定型文章記憶装置から読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を得る宛先考慮型定型文章選択ステップと、この宛先考慮型定型文章選択ステップで得た定型文章を前記文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を得る定型文章挿入ステップとを実行することを特徴としている。

【0011】

【作用】請求項1の文章情報処理装置において、定型文章記憶装置は、複数の定型文章からなる定型文章群を記憶する。定型文章選択装置は、定型文章記憶装置から定型文章群を読み出して利用者に提示すると共に、その中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する。定型文章挿入装置は、定型文章選択装置から出力された定型文章を文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を出力する。

10 【0012】請求項2の文章情報処理装置において、定型文章記憶装置は、複数の定型文章からなる定型文章群を記憶する。日時情報出力装置は、日時を監視して日時情報を出力する。日時考慮型定型文章選択装置は、日時情報出力装置から出力された日時情報に適した定型文章を定型文章記憶装置から読み出して利用者に提示すると共に、その中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する。定型文章挿入装置は、日時考慮型定型文章選択装置から出力された定型文章を文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を出力する。

20 【0013】請求項3の文章情報処理装置において、定型文章記憶装置は、複数の定型文章からなる定型文章群を記憶する。宛先検出装置は、文章情報本文から宛先情報を検出する。宛先考慮型定型文章選択装置は、宛先検出装置により検出された宛先情報に適した定型文章を定型文章記憶装置から読み出して利用者に提示すると共に、その中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する。定型文章挿入装置は、宛先考慮型定型文章選択装置から出力された定型文章を文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を出力する。

30 【0014】請求項4の文章情報処理方法においては、定型文章選択ステップで、定型文章記憶装置に記憶されている定型文章群を読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を得、定型文章挿入ステップで、定型文章選択ステップにおいて得た定型文章を文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を得る。

【0015】請求項5の文章情報処理方法においては、日時情報出力ステップで、日時を監視して日時情報を得、日時考慮型定型文章選択ステップで、日時情報出力ステップにおいて得た日時情報に適した定型文章を定型文章記憶装置から読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を得、定型文章挿入ステップで、日時考慮型定型文章選択ステップにおいて得た定型文章を文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を得る。

50 【0016】請求項6の文章情報処理方法においては、宛先検出ステップで、文章情報本文から宛先情報を検出し、宛先考慮型定型文章選択ステップで、宛先検出ステップにおいて検出した宛先情報に適した定型文章を定型文章記憶装置から読み出して利用者に提示すると共にそ

の中から利用者が選択した特定の定型文章を得、定型文章挿入ステップで、宛先考慮型定型文章選択ステップにおいて得た定型文章を文章情報本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を得る。

【0017】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面を用いて詳細に説明する。

（実施例1）図1は本発明の実施例1における文章情報処理装置を採用した電子メール処理装置の構成図で、この電子メール処理装置は、電子メール編集装置1と、定型文章挿入装置2と、電子メール送信装置3と、定型文章記憶装置4と、定型文章選択装置5とを備えている。電子メール編集装置1は、利用者の指示に基づいて電子メール本文を編集し、編集した電子メール本文を出力する。定型文章記憶装置4は、複数の定型文章からなる定型文章群を記憶している。定型文章選択装置5は、定型文章記憶装置4から定型文章群を読み出して利用者に提示すると共に、その中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する。定型文章挿入装置2は、定型文章選択装置5から出力された定型文章を、電子メール編集装置1から出力された電子メール本文に挿入して、定型文章挿入済み電子メールを出力する。電子メール送信装置3は、定型文章挿入装置2から出力された定型文章挿入済み電子メールを送信電子メールとして出力する。

【0018】次に上記電子メール処理装置の動作について図2のフローチャートを参照しながら説明する。先ず電子メール送信者は、図外の表示画面などを見ながら、図外のキーボード装置などを用いて電子メール本文を編集するための各種入力操作を行う。これにより電子メール編集装置1が利用者の指示に応じて電子メール本文を編集する（ステップS1）。編集が完了すると、利用者の指示により電子メール編集装置1が電子メール本文を定型文章挿入装置2に供給すると共に、定型文章選択装置5が定型文章記憶装置4に記憶されている定型文章群を読み出し、表示画面などに提示する。電子メール送信者は、提示された定型文章群の中から電子メール本文の宛先や送信日時などに応じた定型文章を選択する。これにより定型文章選択装置5が選択された定型文章を定型文章挿入装置2に供給する（ステップS2）。これにより定型文章挿入装置2が電子メール本文に選択された定型文章を挿入し、その定型文章挿入済み電子メールを電子メール送信装置3に供給する（ステップS3）。これにより電子メール送信装置3が定型文章挿入済み電子メールを送信電子メールに変換して外部に向けて送信する（ステップS4）。

【0019】このように、複数の定型文章からなる定型文章群を記憶する定型文章記憶装置4と、この定型文章記憶装置4から定型文章群を読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する定型文章選択装置5とを設けたので、電子メー

ル送信者が電子メールの宛先や送信日時などに応じた定型文章を選択して電子メール本文に挿入することができ、したがって従来のように単一定型文章記憶装置34の内容を手動で書き直す手数が省け、また海外宛の電子メール本文に、国内宛の電子メール本文に挿入する場合に用いる日本語コードで書かれた定型文章を挿入してしまうというような誤りを良好に低減できる。

（実施例2）図3は本発明の実施例2における文章情報処理装置を採用した電子メール処理装置の構成図で、図1に示す構成要素と同一の構成要素には同一の符号を付している。この電子メール処理装置は、電子メール編集装置1と、定型文章挿入装置2と、電子メール送信装置3と、定型文章記憶装置4と、日時情報出力装置7と、日時考慮型定型文章選択装置8とを備えている。電子メール編集装置1は、利用者の指示に基づいて電子メール本文を編集し、編集した電子メール本文を出力する。定型文章記憶装置4は、複数の定型文章からなる定型文章群を記憶している。日時情報出力装置7は、日時を監視して日時情報を出力する。日時考慮型定型文章選択装置8は、日時情報出力装置7から出力された日時情報に適した定型文章を定型文章記憶装置4から読み出して利用者に提示すると共に、その中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する。定型文章挿入装置2は、日時考慮型定型文章選択装置8から出力された定型文章を、電子メール編集装置1から出力された電子メール本文に挿入して、定型文章挿入済み電子メールを出力する。電子メール送信装置3は、定型文章挿入装置2から出力された定型文章挿入済み電子メールを送信電子メールとして出力する。

【0020】次に上記電子メール処理装置の動作について図4のフローチャートを参照しながら説明する。先ず電子メール送信者は、図外の表示画面などを見ながら、図外のキーボード装置などを用いて電子メール本文を編集するための各種入力操作を行う。これにより電子メール編集装置1が利用者の指示に応じて電子メール本文を編集する（ステップS11）。編集が完了すると、利用者の指示により電子メール編集装置1が電子メール本文を定型文章挿入装置2に供給すると共に、日時情報出力装置7が現在の日時情報を日時考慮型定型文章選択装置8に供給する（ステップS12）。これにより日時考慮型定型文章選択装置8が定型文章記憶装置4に記憶されている定型文章群の中から現在の日時に適した複数の定型文章を読み出し、表示画面などに提示する。電子メール送信者は、提示された定型文章の中から電子メール本文の宛先などに応じた定型文章を選択する。これにより日時考慮型定型文章選択装置8が選択された定型文章を定型文章挿入装置2に供給する（ステップS13）。これにより定型文章挿入装置2が電子メール本文に選択された定型文章を挿入し、その定型文章挿入済み電子メールを電子メール送信装置3に供給する（ステップS14）。

4)。これにより電子メール送信装置3が定型文章挿入済み電子メールを送信電子メールに変換して外部に向けて送信する(ステップS15)。

【0021】このように、複数の定型文章からなる定型文章群を記憶する定型文章記憶装置4と、日時を監視して日時情報を出力する日時情報出力装置7と、日時情報出力装置7から出力された日時情報に適した定型文章を定型文章記憶装置4から読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する日時考慮型定型文章選択装置8とを設けたので、日時情報をもとに現在送信しようとしている電子メール本文に適した定型文章を提示することから、電子メール送信者が容易に適切な定型文章を電子メール本文に挿入することができる。

(実施例3) 図5は本発明の実施例3における文章情報処理装置を採用した電子メール処理装置の構成図で、図1に示す構成要素と同一の構成要素には同一の符号を付している。この電子メール処理装置は、電子メール編集装置1と、定型文章挿入装置2と、電子メール送信装置3と、定型文章記憶装置4と、宛先検出装置10と、宛先考慮型定型文章選択装置11とを備えている。電子メール編集装置1は、利用者の指示に基づいて電子メール本文を編集し、編集した電子メール本文を出力する。定型文章記憶装置4は、複数の定型文章からなる定型文章群を記憶する。宛先検出装置10は、電子メール本文から宛先情報を検出する。宛先考慮型定型文章選択装置11は、宛先検出装置により検出された宛先情報に適した定型文章を定型文章記憶装置4から読み出して利用者に提示すると共に、その中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する。定型文章挿入装置2は、宛先考慮型定型文章選択装置11から出力された定型文章を電子メール本文に挿入して定型文章挿入済み文章情報を出力する。電子メール送信装置3は、定型文章挿入装置2から出力された定型文章挿入済み電子メールを送信電子メールとして出力する。

【0022】次に上記電子メール処理装置の動作について図6のフローチャートを参照しながら説明する。先ず電子メール送信者は、図外の表示画面などを見ながら、図外のキーボード装置などを用いて電子メール本文を編集するための各種入力操作を行う。これにより電子メール編集装置1が利用者の指示に応じて電子メール本文を編集する(ステップS21)。編集が完了すると、利用者の指示により電子メール編集装置1が電子メール本文を定型文章挿入装置2と宛先検出装置10とに供給する。これにより宛先検出装置10が電子メール本文から宛先情報を検出し、宛先考慮型定型文章選択装置11に供給する(ステップS22)。これにより宛先考慮型定型文章選択装置11が定型文章記憶装置4に記憶されている定型文章群の中から電子メールの宛先に適した複数の定型文章を読み出し、表示画面などに提示する。電子

メール送信者は、提示された定型文章の中から電子メール本文の送信日時などに応じた定型文章を選択する。これにより宛先考慮型定型文章選択装置11が選択された定型文章を定型文章挿入装置2に供給する(ステップS23)。これにより定型文章挿入装置2が電子メール本文に選択された定型文章を挿入し、その定型文章挿入済み電子メールを電子メール送信装置3に供給する(ステップS24)。これにより電子メール送信装置3が定型文章挿入済み電子メールを送信電子メールに変換して外部に向けて送信する(ステップS25)。

【0023】このように、複数の定型文章からなる定型文章群を記憶する定型文章記憶装置4と、電子メール本文から宛先情報を検出する宛先検出装置10と、この宛先検出装置10により検出された宛先情報に適した定型文章を定型文章記憶装置4から読み出して利用者に提示すると共にその中から利用者が選択した特定の定型文章を出力する宛先考慮型定型文章選択装置11とを設けたので、電子メール本文の宛先情報をもとに現在送信しようとしている電子メール本文に適した定型文章を提示することから、電子メール送信者が容易に適切な定型文章を電子メール本文に挿入することができる。

【0024】なお上記各実施例においては電子メール本文の1箇所に定型文章を挿入する例について説明したが、電子メール本文の複数箇所に定型文章を挿入する場合は、各箇所において上記挿入動作を繰り返せばよい。また上記実施例2, 3においては日時考慮型定型文章選択装置8あるいは宛先考慮型定型文章選択装置11により複数の定型文章を読み出したが、適切な定型文章が1つしかない場合は、利用者の選択を待たずに自動的に定型文章を電子メール本文に挿入するように構成してもよい。

【0025】また上記各実施例においては本発明を電子メール処理装置に適用したが、本発明は電子メール処理装置ばかりでなく、電子ニュース処理装置や電子掲示板処理装置などの種々の処理装置に適用できることは勿論である。

【0026】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、定型文章記憶装置に記憶されている定型文章群を読み出して利用者に提示すると共に、その中から利用者が選択した特定の定型文章を文章情報本文に挿入するので、あらかじめ用意した複数の定型文章の中から利用者が特定の定型文章を選択して文章情報本文に挿入できる。したがって従来のように単一定型文章記憶装置の内容を手動で書き直す手数が省け、また海外宛の文章情報本文に、国内宛の文章情報本文に挿入する場合に用いる日本語コードで書かれた定型文章を挿入してしまうというような誤りを良好に低減できる。

【0027】また、日時を監視して日時情報に適した定型文章を定型文章記憶装置から読み出して利用者に提示

すると共に、その中から利用者が選択した特定の定型文章を文章情報本文に挿入するようにすれば、文章情報本文に日時に対応した適切な定型文章を容易に挿入することができる。また、文章情報本文から宛先情報を検出し、この宛先情報に適した定型文章を定型文章記憶装置から読み出して利用者に提示すると共に、その中から利用者が選択した特定の定型文章を文章情報本文に挿入するようにすれば、文章情報本文に宛先に対応した適切な定型文章を容易に挿入することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例1における文章情報処理装置を備えた電子メール処理装置の構成図である。

【図2】本発明の実施例1における文章情報処理装置を備えた電子メール処理装置の動作を説明するフローチャートである。

【図3】本発明の実施例2における文章情報処理装置を備えた電子メール処理装置の構成図である。

【図4】本発明の実施例2における文章情報処理装置を

備えた電子メール処理装置の動作を説明するフローチャートである。

【図5】本発明の実施例3における文章情報処理装置を備えた電子メール処理装置の構成図である。

【図6】本発明の実施例3における文章情報処理装置を備えた電子メール処理装置の動作を説明するフローチャートである。

【図7】従来の文章情報処理装置を備えた電子メール処理装置の構成図である。

10 【符号の説明】

2 定型文章挿入装置

4 定型文章記憶装置

5 定型文章選択装置

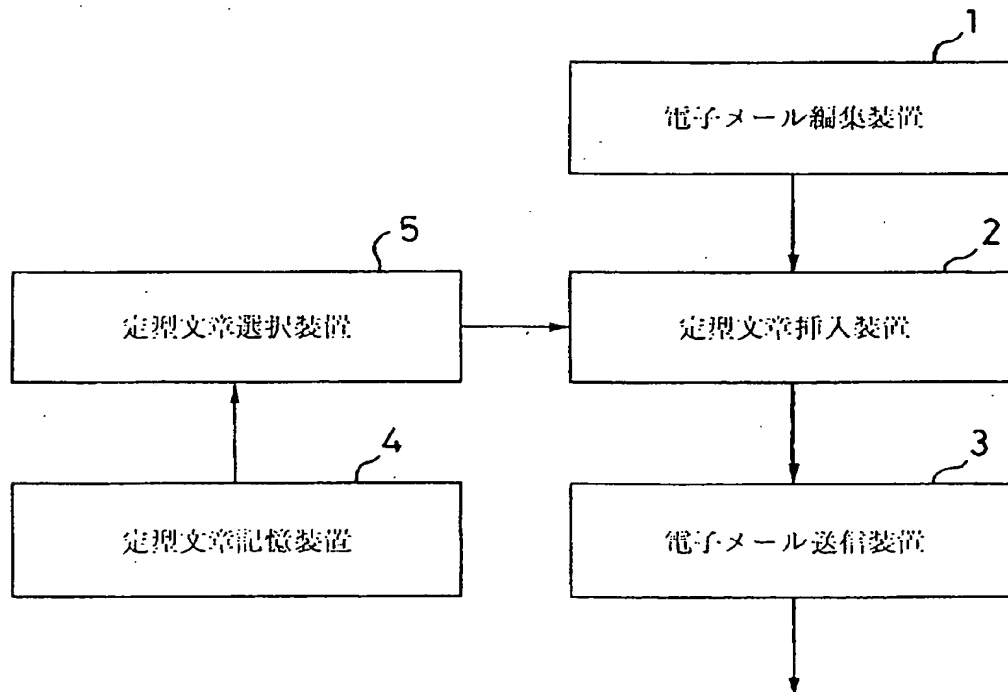
7 日時情報出力装置

8 日時考慮型定型文章選択装置

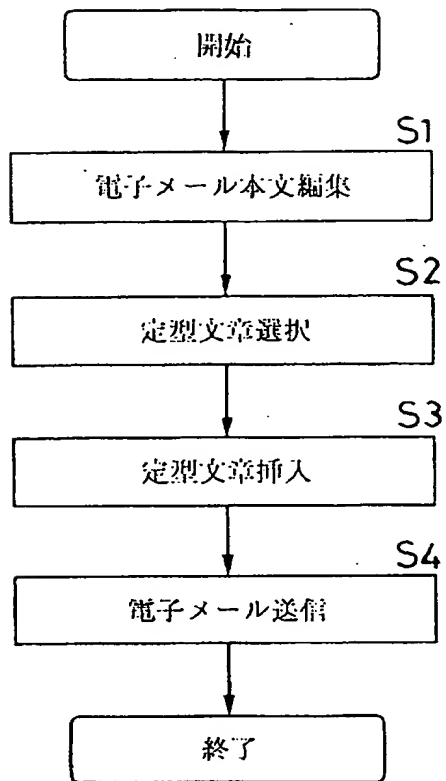
10 宛先検出装置

11 宛先考慮型定型文章選択装置

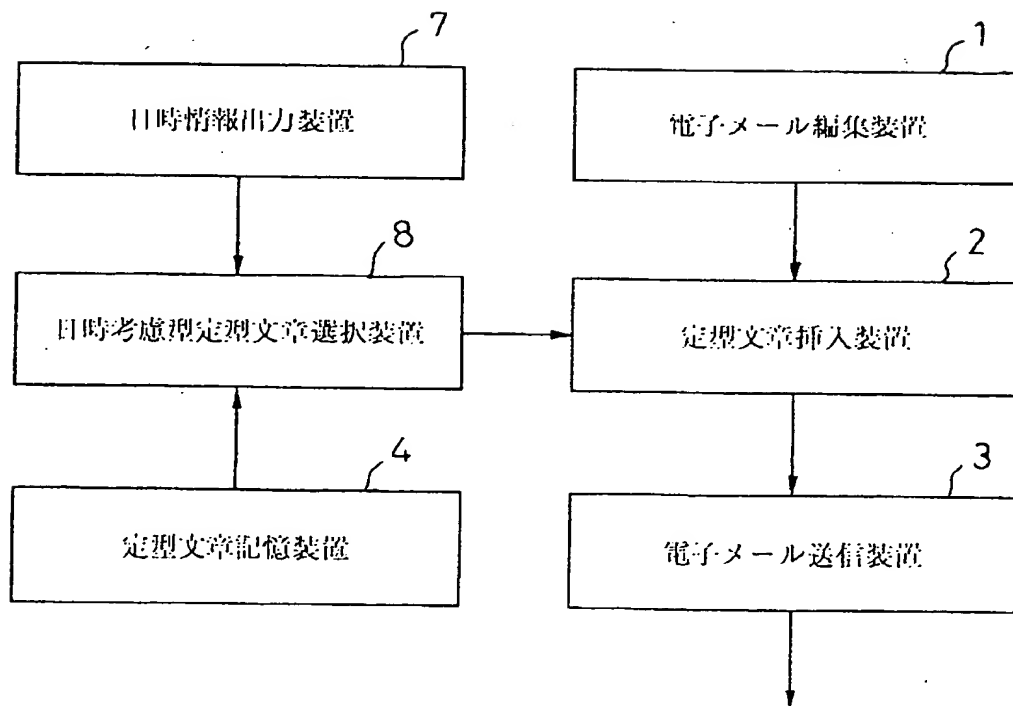
【図1】



【図2】

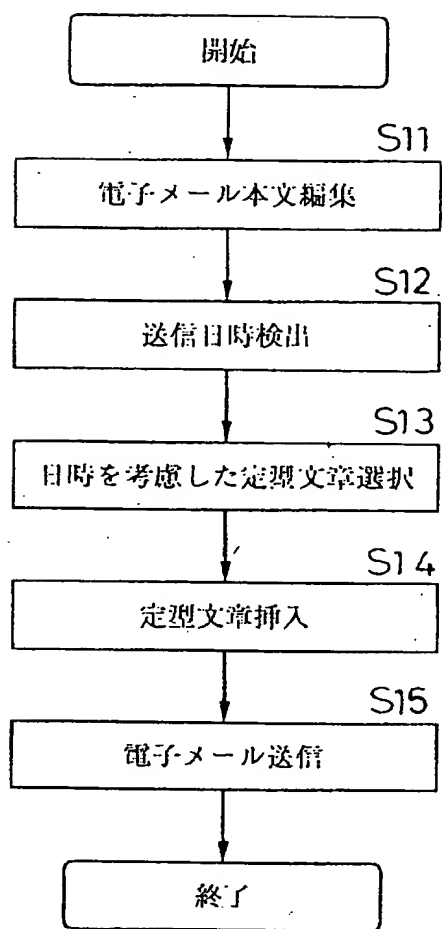


【図3】

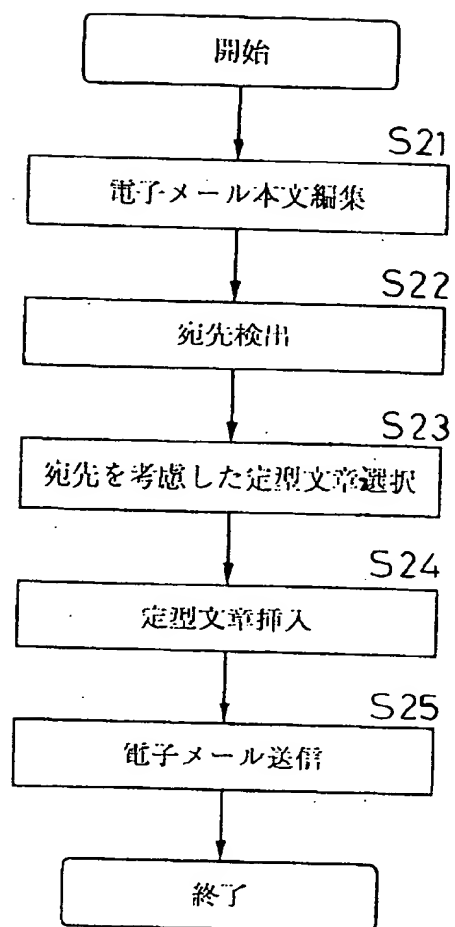




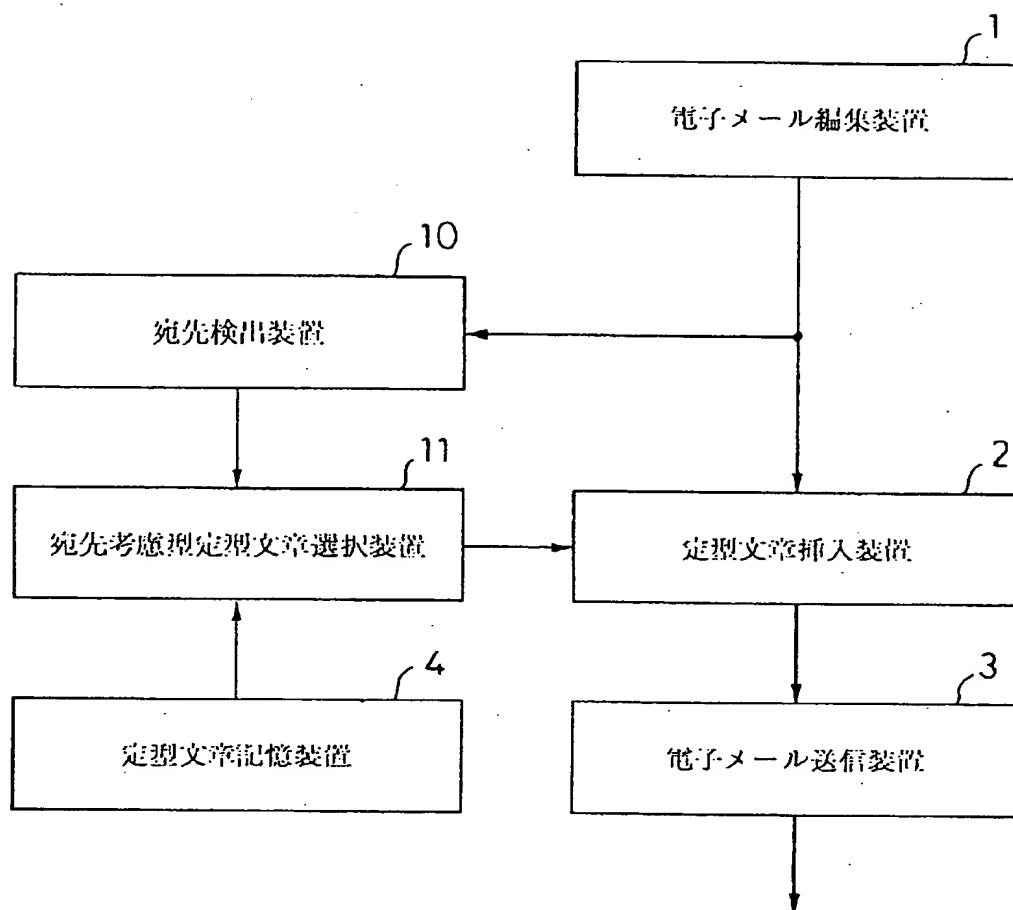
【図4】



【図6】



【図5】



【図7】

